

【提案会様式】 「CaaS～Camera as a Service～で創るデータ収集基盤」

目的・背景

「日本人、外国人を問わず観光客を呼び込めるような施策」というニーズを受けて、効果的な観光施策の計画と実施した施策の効果測定を行うために現状の観光客数の把握が重要と考え、IPカメラとAIを組合わせた「CaaSソリューション」を用いた観光地の現状把握を提案した。

提案概要

観光地や道の駅等へカメラを設置し、カメラから得られた映像をクラウドに搭載されたAIで解析することで、観光客の人流や年代・性別といった属性情報が取得可能となる。

AI解析の結果得られた人流・属性情報を基とすることで、観光地の実情に即した効果的な観光施策やプロモーションの費用対効果の最大化が見込めるほか、継続的にデータ収集を行うことで効果測定にも役立てることができる。

クラウド環境は、地域の課題に合わせた機能の開発によって、機能の追加が可能なため、導入後もニーズに応じたカメラ設備の移設によりイニシャルコストの低減など、柔軟な運用が可能。

今後の展望

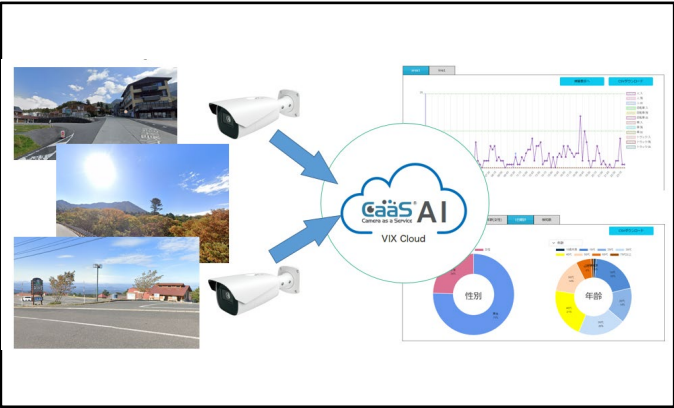
カメラとAIで得られた人流・属性解析結果を基として、プロモーション計画の策定や観光戦略、効果測定などを実施し、効率的な観光ソリューションの導入に寄与する。

また、デジタルサイネージやNFC、VR技術などを用いて、観光をより一層楽しめるソリューションを提供し、さらなる観光客誘致と周遊促進を図る。

費用・活用補助金等

- ・地方部での滞在促進のための地域周遊観光促進事業
- ・地域観光新発見事業【新創出型、販売型】
- ・ICT等を活用した観光地のインバウンド受入環境整備の高度化
- ・全国の観光地・観光産業における観光DX推進事業
- ・地域デジタル基盤活用推進事業【③補助事業】

実施主体	株式会社中電工
実施場所	大山町
活用技術	AI、ICT、クラウド
支援事業	地方部での滞在促進のための地域周遊観光促進事業 等
区分	観光・文化
HP掲載年月日	令和7年2月28日



中電工 画像センシング事業の概要

ヒトの眼に代わる
画像センサーとしての
カメラ



画像を格納し、記憶を代替する
クラウドサーバー



取得した画像に対して知覚及び
意思決定を補助する
AI解析



これら3つを融合させた
画像センシング事業は、社会が抱える様々な地域課題の解決を目指している。

この画像センシング事業全般を「CaaS～Camera as a Service～」と命名し、
提供している。

CaaSを支えるクラウド基盤

VIX(**V**ideo **I**nformation **E**xchange：映像情報交換)クラウドと名付けた、
中電工の所有するクラウド基盤

VIXクラウドとは？

カメラで取得した映像を
目的に合った情報に変換する
情報交換機

- ◆ LTE経由、インターネット経由問わず
IPカメラと接続可能
- ◆ M-JPEGに変換し、ブラウザで表示
- ◆ 各種AIエンジン搭載
- ◆ 静止画および動画表示可能
- ◆ 各種端末への配信が可能



以下のようなAIを搭載！

車種別交通量計測・人流計測・属性解析・水位監視・エリア侵入検知及び通知

サブスクリプション提供としてのCaaS



CaaS (Camera as a Service) は、必要な期間のみ（最短1か月～）高性能IPカメラを使用できるサブスクリプション型のサービスも提供している。
IPカメラを導入したいが、「資産として管理したくない」「メンテナンスが面倒」というニーズに対応したサービス。

パッケージ内容

- IPカメラ
- LTEルータ
- LTE SIMカード
- LTE 通信費
- SDカード

月額利用料：¥30,000～/台

- * 標記の費用は、長期利用かつ複数台利用の金額
- * 設置工事費別途
(設置工事費を含めたサブスク提供（月額均等払い）も可能)
- * カメラタイプに応じて費用が変動します
- * 長期間利用による割引あり
- * カメラのみを数千円でサブスク提供することも可能
(屋内利用等でお客様が有線ネットワークをご用意頂く場合)

100[V]電源の用意で、設置した日から遠隔で映像確認が可能

ライブストリーミング、エッジ録画、PTZカメラ操作や、クラウドとの連携も可能です。

